



森本 貴之 議員

高麗体育館の今後の老朽化対策は

町長

地元要望も反映できるように 検討する



対策を待つ体育館

【森本】町内外から数多くの利用者があり、にぎわいを感じる施設であるが老朽化が心配である。施設の現在までの稼働年数と耐用年数、利用者数の推移は。

【町長】稼働年数は約63年が経過している。耐用年数については、物理的耐用年数の限界にきていると考えている。利用者の推移については、28年度4858人で、27年度に比べ1312人の減少である。

【森本】減少傾向にあるとはいえ、利用者数は多い。利用中の安全性も心配であるが、今後の老朽化対策は。

【町長】公共施設の管理計画を定めており、計画的に検討する。

【森本】耐震性も見直し建て替えをして、避難所へ指定する考えは。

【町長】一般財源で行政が100%出しているだけで地元負担していただけでも考慮したい。避難所の指定も含め、地元要望も反映できるように検討する。

大山町移住定住 助成金の拡充は

町長

魅力ある制度に なるよう努める

【森本】大山町移住定住助成金の中で、住宅新築等推進助成について、町内外者ともに40歳をむかえると助成金額が最高100万円から50万円と半額になっているが、その理由は。

【町長】より若者に定住してもらうため、40歳未満の助成を手厚くして実施している。

【森本】この事業のPRはどのようにされているか。

【町長】広報やホームページ、建設会社等に周知している。

【森本】移住方法も様々あるが、より良い子育て環境を求めている移住も増えているように感じる。

助成金の満額対象者

を40代まで上げ、住みたい町・帰ってきたい町として全国にアピールし、より魅力ある事業へする考えは。

【町長】年齢制限は撤廃してもいいかと思うが、どういった影響があるのか、担当課と詳細をつめて検討する。

より魅力ある制度になるよう努める。



移住定住に手厚いサポート